

高等
小學

修

身

編

香月經編纂

四

K120.1
37.7
4

K120.1

37.7

4

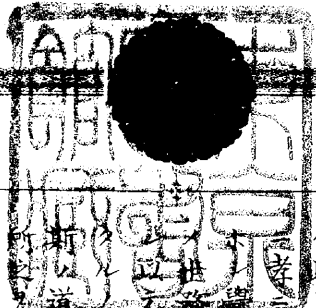
香月起經編纂

高等
小學

修身編

版權
所有

磊落堂藏版



勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナ
 リ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セル
 ハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母
 兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及
 ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣
 ヲ開キ帝ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉
 天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民
 ニナラズ又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

新道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ
 所也古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ
 拳々服膺シテ成其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名御璽

高等小學修身編卷之四

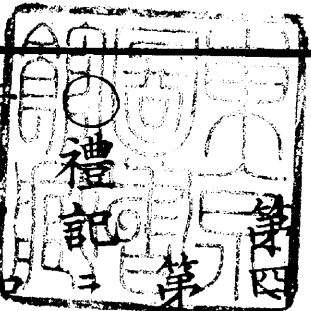
香月恕經 編纂

第四年期

第一章

學問

附立志



禮記ニ曰ク。嘉肴アリト雖。食ハザレバ其
昔キヲ知ラザル也。至道アリト雖。學バザレ
バ其善キヲ知ラザル也。

○初學知要ニ曰ク。大抵書ヲ讀ミ學ヲ爲ス

者。博ク且精シカラント欲ス。蓋シ。博ケレバ則通セザルトナク。精シケレバ則明ナラザルトナシ。

○願體集ニ曰ク。學胸中ニ滿レバ。言ヲ出スニ自ラ蘊蓄アリ。理胸中ニ明カナレバ。事ヲ行フニ自ラ涵養アリ。

○論衡ニ曰ク。精學ハ貴キヲ求メザレドモ。貴キ自ラ至リ。力作ハ。富ミヲ求メザレドモ。

富ミ自ラ至ル。

○程子曰ク。百工ノ器ヲ治ムルハ。必ず用アルヲ貴ブ。器ニシテ用フベカラザレバ。工ハ爲サズ。學ビテ用フル所ナクンバ。學將タ何ヲカ爲サン。

○諸葛孔明曰ク。學ハ須ラク靜カナルヘシ。才ハ須ラク學ブベシ。學ニ非ザレバ。以テ才ヲ廣ムルトナシ。靜ニ非ザレバ。以テ學ヲ成

ス。了ナシ。惰慢ナレバ。則精ヲ研ク。了能ハズ。險躁ナレバ。則性ヲ理ムル。了能ハズ。年ハ時ト與ニ馳セ。意ハ歳ト與ニ去リ。遂ニ枯落ト成リ。窮廬ニ悲歎スルモ。將夕復何ソ及バン。○張履祥曰ク。少年ノ人。志ヲ立ルハ。高遠ナラン。了ヲ要ス。身ヲ持スルハ。謹嚴ナラン。了ヲ要ス。志ヲ立ル。了高カラザレバ。流俗ニ溺ル。身ヲ持スル。了嚴ナラザレバ。邪辟ニ陷ル。

○顏淵曰ク。舜何人ゾ。予何人ゾ。爲ス。了アル者ハ亦是ノ若シ。

○胡文定曰ク。心ヲ立ルハ。忠信不欺ヲ以テ。主本ト爲シ。已ヲ行フハ。端莊清慎ヲ以テ。操執ヲ見ル。

第二章

修養

○孟子曰ク。貴キヲ欲スルハ。人ノ同ジキ心ナリ。人々已ニ貴キモノアリ。思ハザルノミ。

○諸葛武侯曰ク。君子ノ行ヒハ。靜以テ身ヲ脩メ。儉以テ徳ヲ養フ。澹泊ニ非レバ。以テ志ヲ明ニスルコトナシ。寧靜ニ非サレバ。以テ遠キヲ致スコトナシ。

○范質ガ詩ニ曰ク。戒ム爾多言スルコト勿レ。多言ハ衆ノ忌ム所。苟モ樞機ヲ慎マザレバ。災厄是ヨリ始マル。是非毀譽ノ間。適ニ身ノ累ヲ爲スニ足ル。

○論語ニ曰ク。多ク聞テ疑ハシキヲ闕ギ。慎ミテ其餘ヲ言ヘバ。則尤メ寡シ。多ク見テ殆キヲ闕ギ。慎テ其餘ヲ行ヘバ。則悔寡シ。

○福壽全書ニ曰ク。自家好キ處ハ。幾分ヲ掩藏センコトヲ要ス。這ハ是涵蓄シテ以テ養フコト深シ。別人好カラザル處ハ。幾分ヲ掩藏センコトヲ要ス。這ハ是渾厚ニシテ以テ養フコト大ナリ。

○蓄德錄ニ曰ク。君子ニ二ノ恥アリ。能スル所ニ矜ル。恥也。能セザル所ヲ飾ル。恥也。能スル所ハ。謙以テ之ニ居リ。能セザル所ハ。學以テ之ヲ充タス。

○願體集ニ曰ク。禮義廉恥ハ。以テ己ヲ律スベシ。人ヲ繩スベカラズ。

○言行彙纂ニ曰ク。廉恥ノ二字ヲ識リ得レハ。自然ニ正大光明ノ氣象アリ。

○呻吟語ニ曰ク。富ハ。能ク施スヲ以テ徳トシ。貧キハ。求ムルコトナキヲ以テ徳トス。貴キハ。人ニ下ルヲ以テ徳トシ。賤キハ。勢ヲ忘ルハ。ヲ以テ徳トス。

○樵談ニ曰ク。衣垢ツキテ洗ハズ。器缺ゲテ補ハズ。人ニ對シテ猶慙ル色アリ。行垢レテ洗ハズ。徳缺ゲテ補ハズ。天ニ對シテ豈愧ルコト無ランヤ。

○菜根譚ニ曰ク。耳中常ニ耳ニ違フノ言ヲ聞キ。心中常ニ心ニ拂ルノ事アレバ。纔ニ是レ徳ニ進ミ行ヲ修ムルノ砥石ナリ。

第三章 警戒 附改過

○老子曰ク。天下ノ難事ハ。必易キヨリ作り。天下ノ大事ハ。必細キヨリ作ル。

○董仲舒曰ク。明者ハ。遠ク未萌ニ見ル。知者ハ。危キヲ無形ニ避ク。禍固ヨリ隱微ニ藏レ。

人ノ忽ニスル所ニ發ル。

○王陽明曰ク。今人ノ病痛ハ。只是レ一個ノ傲ノ字。千罪百惡。皆傲ヨリ生ズ。謙抑ハ乃對症藥ナリ。

○洗心輯要ニ曰ク。人言ヲ以テ人ニ媚ブル者ハ。但人ノ已ヲ悦ハン。丁ヲ欲シテ。人ノ已ヲ輕ズル。丁ヲ知ラズ。人言ヲ以テ自ヲ誇ル者ハ。但人ノ已ヲ羨マン。丁ヲ欲シテ。人ノ已

ヲ笑フ丁ヲ知ラス。

○松溪子曰ク。人ヲ毀レハ。人モ亦之ヲ毀リ。人ヲ危クスレバ。人モ亦之ヲ危クス。人ヲ害シ人ヲ損スレバ。人モ亦之ヲ害シ之ヲ損ス。○文選ニ曰ク。君子ハ未然ヲ防グ。嫌疑ノ間ニ處ラズ。瓜田ニ履ヲ納レズ。李下ニ冠ヲ正サズ。

○呻吟語ニ曰ク。利ヲ見テハ前ニ進ミ。害ヲ

見テハ後ニ退キ。功ヲ同クスレバ。美ヲ己ニ專ニシ。過ヲ同クスレバ。罪ヲ人ニ委ヌ。此レ小人ノ恒態ニシテ。丈夫ノ恥行也。

○左傳ニ曰ク。人誰カ過ナカラシ。過テ能ク改ムル。善コレヨリ。大ナルハナシ。

○呻吟語ニ曰ク。我過ヲ攻ル者。未必シモ皆過ナキノ人ナラズ。苟モ過ナキノ人。我ヲ攻ルヲ求メバ。終身過ヲ聞ク丁ヲ得ズ。

○周茂叔曰ク。仲由過ヲ聞クコトヲ喜ビテ。令名窮リナシ。今人過アリテ。人ノ規スヲ喜バズ。病ヲ護リテ醫ヲ忌ムガ如シ。寧口其身ヲ滅シテ。而悟ル丁ナシ。噫。

第四章

家倫

附處事

○曾子曰ク。君子ハ。其復スベカラザル者ヲ思テ先ヅ施ス。親既ニ没セバ。孝セント欲スト雖。誰ガ爲ニカ孝セン。年既ニ耆艾ナラバ。

悌セント欲スト雖。誰ガ爲ニカ悌セン。

○學則ニ曰ク。孝子ノ親ニ事フルヤ。居レバ則其敬ヲ致シ。養ヘバ則其樂ミヲ致シ。疾メバ則其憂ヲ致シ。喪ニハ則其哀ミヲ致シ。祭ニハ則其嚴ヲ致ス。五ノ者備リテ。而後能ク其親ニ事フ。

○有子曰ク。君子ハ本ヲ務ム。本立テ而道生ズ。孝弟ハ。其レ仁ヲ爲ルノ本カ。

○習是編ニ曰ク。疎族窮親歸スル所ナシ。代リテ贍養ヲナスハ。乃^チ盛徳ノ事。モシ視ル^ト奴隸ニ同ジク。全ク禮貌セザルハ。反テ不可ナリ。

○黄家人子語ニ曰ク。財ヲ讓ルノ美タル。朋友ニ於テモ且然リ。况ヤ兄弟ヲヤ。己カ財且當^サニ讓ルベシ。况ヤ父母ノ遺セルヲヤ。

○願體集ニ曰ク。財ヲ交フルノ一事。最モ難シ。至親朋友ト雖。亦須ラク明白ニスベシ。○論語ニ曰ク。其身正シケレハ。令セズシテ而行ハル。其身正シカラザレハ。令スト雖從ハズ。

○胡文定曰ク。事ニ臨テハ。明敏果斷ヲ以テ。其是非ヲ辨ズ。

○呂氏童蒙訓ニ曰ク。事不可ナル^トアラハ。詳カニ之ヲ處スベシ。必中ラサル^トナシ。若

シ暴怒ヲ先ニセハ。只能ク自ラ害フ。豈能ク人ヲ害ハンヤ。

○淮南子曰ク。堯戒ニ云ク。戰々慄々トシテ。日一日ヲ慎メト。人山ニ蹟ク丁ナクシテ。塚ニ蹟ク。是故ニ。人皆小害ヲ輕ジ。微事ヲ易リテ悔ユル丁多シ。

○呂叔簡曰ク。世間往ク所トシテ。意ニ拂ルノ事ナキハナシ。一日トシテ。意ニ拂ルノ事

ナキハナシ。唯度量寛弘ナレハ。受用ノ處アリ。彼ノ苟量褊淺ナル者ハ。空シク自ラ懊懐スルノミ。

第五章 處世

○邵康節曰ク。心一ニシテ分タザレハ。能ク萬變ニ應ズ。

○蘓老泉曰ク。一忍以テ百勇ヲ支フベシ。一靜以テ百動ヲ制スベシ。

○菜根譚ニ曰ク。性躁シク心粗ナル者ハ。一事成ル丁ナク。心和ラギ氣平カナル者ハ。百福自ラ集マル。

○自覺談ニ曰ク。才アリトイヘド。義氣ナキ者ハ。大事ニ用ヒ難シ。

○論語ニ曰ク。内ニ省ミテ疚シカラズンハ。夫レ何ヲカ憂ヘ。何ヲカ懼レン。

○羅近溪曰ク。處シ難キノ事ヲ處スルニハ。

愈宜シク寛ナルベシ。處シ難キノ人ヲ處スルニハ。愈宜シク厚カルベシ。至急ノ事ヲ處スルニハ。愈宜シク緩ナルベシ。

○栗山文集ニ曰ク。人能ク一層ノ勞ニ勝フル者ハ。能ク一層ノ樂ミヲ受ク。能ク百層ノ勞ニ勝フル者ハ。能ク百層ノ樂ミヲ受ク。其困ム所ハ。則其樂ム所ノ地ナル歟。○司馬溫公曰ク。士君子ノ己ヲ處スル。只應

二事多キ中ニ於テ。事ヲ省ク丁ヲ求ムヘシ。

○菜根譚ニ曰ク。横逆困窮ハ。是レ豪傑ヲ鍛鍊スル一副ノ鑪錘。

○馮時可曰ク。一事逆ヘバ心ニ憎ミ。一言拂レバ心ニ銜ム。カクノ如キ者ハ。四海ノ内樂地ナク。百年ノ内泰時ナシ。

○初學知要ニ曰ク。人ノ患難ニ於ケル。只一箇ノ處置アリ。人謀ヲ盡スノ後ハ。却テ須ラ

ク泰然トシテ之ニ處スベシ。

○願體集ニ曰ク。氣ヲ尚ビ勝ツ丁ヲ好ムハ人ノ常情ト雖。小利ヲ争テ大義ヲ忘シ。虚氣ヲ尚ビテ實禍ヲ醸スベカラズ。

○拙翁庸語ニ曰ク。人ヲシテ懼レシムルハ。人ヲシテ愛セシムルニ若カズ。人ヲシテ愛ヒシムルハ。人ヲシテ敬セシムルニ若カズ。○朋勃德曰ク。余思フニ。幸不幸ト云フハ。人

世出來事ノ性質ニ存スルヨリハ。寧口。吾人が其出來事ニ對スル道ノ如何ニ由ル。

○綾部道弘曰ク。凡ソ事ノ義ニ害ナキ者ハ。須ラク時俗ニ從ノベシ。

○勸善訓蒙ニ曰ク。人ニ恩ヲ施スハ。當ニ正理ニ基クベシ。善惡ノ差別ナク。濫リニ人ニ恩ヲ施スベカラズ。惡人ニ恩ヲ施セバ。却テ其惡ヲ助ル丁アリ。

第六章 忠愛

○神皇正統紀ニ曰ク。凡ソ王土ニ生レテ。王臣トナル者ハ。忠ヲ盡シ命ヲ致スハ。人臣ノ常道ナリ。苟モ王事ニ盡スモノヲ以テ。功名トナスベカラズ。

○良齋閑話ニ曰ク。雄武英武忠直ノ風ハ。吾國ノ美俗ニシテ。萬古不磨ノ士氣ナリ。益鼓舞振勵シ。武備ヲ精練シ。邦家ヲ守ルヘキ也。

修身編 卷之四
○ブリツケ曰ク。凡ソ自國ノ危難ニ際シ。防禦ヲ要スル時ニ當リテハ。吾人ノカヲ竭シ。且其性命ヲ致スベキハ。是レ吾人本分ノ義務ニ屬ス。

○詩ニ曰ク。王コ、ニ師ヲ興サバ。我甲兵ヲ脩メテ。子ト偕ニ行カン。

○性理書ニ曰ク。君臣ノ名分ヲ明カニシ。天下ノ大義ヲ識リ。死ヲ守リテ變ゼサル。斯レ之ヲ義ト謂フ。

○習是編ニ曰ク。一介ノ士モ。知己ニ遇フ。了ヲ得レバ。恩ニ感ジ報ヒニ。了ヲ思ヒ。尚且ツ軀ヲ捐ツ。而ルヲ况ヤ。君臣ノ大義ヲセ。

○グレッツセー曰ク。我財貨我性命ハ。我レニ屬スルモノニ非ス。其實ハ皆我國ニ屬スルモノナリ。

○歐陽永叔曰ク。君子。守ル所ノ者ハ道義行。

フ所ノ者ハ忠信。惜ム所ノ者ハ名節。之ヲ以テ身ヲ修ムレバ。道ヲ同クシテ相益シ。之ヲ以テ國ニ仕フレハ。心ヲ同クシテ共ニ濟ス。終始一ノ如シ。

○論語ニ曰ク。志士仁人ハ。生ヲ求メテ以テ仁ヲ害スル丁ナシ。身ヲ殺シテ以テ仁ヲ成スコトアリ。

○蕪東坡曰ク。道義心肝ヲ貫キ。忠義骨髓ヲ填ム。須ラク死生ノ間ニ談笑スベシ。

○國語ニ曰ク。民ハ三ニ生ク。之ニ事フル丁一ノ如クス。父之ヲ生シ師之ヲ教ヘ。君之ヲ食ナフ。父ニ非ザレバ生ゼズ。食ニ非ザレバ長セズ。教ヘニ非ザレバ知ラズ。生ケルノ族ナリ。故ニ一ニ之ニ事フ。唯其在ル所則死ヲ致ス。

高等
小學
修身編卷之四終

佛身經 卷之四

明治廿五年三月二十日印刷
全 年今月廿一日出版

版權登錄濟

壹卷九錢
二卷八錢五厘
三卷八錢五厘
四卷九錢

發行兼
印刷者

福岡縣福岡市博多中島町四十番地

林 芥 介

福岡縣那珂郡住吉村大字春吉百四十三番地

編纂者

香月 恕 經

修身編集

